



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社不動テトラ 上場取引所 東  
コード番号 1813 URL <http://www.fudotetra.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹原 有二  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部企画財務部長 (氏名) 山下 晃 (TEL) (03) 5644-8500  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	40,064	16.9	△217	—	△353	—	△450	—
24年3月期第3四半期	34,281	△11.2	△1,102	—	△1,431	—	△1,617	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △418百万円(—%) 24年3月期第3四半期 △1,687百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△2.74	—
24年3月期第3四半期	△9.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	43,612	12,464	28.3
24年3月期	43,262	12,882	29.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 12,328百万円 24年3月期 12,759百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	17.4	1,200	20.4	1,000	4.1	500	184.1	3.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期3Q	182,025,228株	24年3月期	182,025,228株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	17,540,592株	24年3月期	17,540,118株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	164,484,841株	24年3月期3Q	164,485,500株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9
受注高・売上高・繰越高（連結ベース） .....	9

# 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## （1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要の下支えはあったものの、世界経済の減速の影響から輸出や生産が低迷するなど、停滞した状況が続きました。

建設業界におきましては、公共投資は震災復興需要により堅調に推移したものの、民間設備投資の回復が見られず、厳しい経営環境が続きました。

当社グループにおきましては、中期経営計画の初年度として、課題である震災復興関連事業や全国的な防災・減災事業に取り組んだ結果、受注は堅調に進捗し、当第3四半期連結累計期間の受注高は39,492百万円（前年同四半期比36.2%増）となり、売上高は40,064百万円（前年同四半期比16.9%増）と増収となりました。

損益につきましては、売上高の増加に加え販売費及び一般管理費など固定費の削減に努めたことから、営業損失は217百万円（前年同四半期1,102百万円の損失）、経常損失は353百万円（前年同四半期1,431百万円の損失）、四半期純損失は450百万円（前年同四半期1,617百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの四半期別売上高は、建設業界における一般的な傾向と同様に、第4四半期に完成する工事の割合が大きく、第4四半期の売上高の割合が他の四半期に比べ、著しく高くなるという特性を有しています。従いまして、業績面におきましても同様の季節的変動特性があります。

なお、受注・売上・繰越高の状況につきましては9ページに記載しております。

当社グループの事業別概況は次のとおりで、各事業の成績は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しています。（セグメント情報の詳細については、8ページをご覧ください。）

（単位：百万円）

	受 注 高			売 上 高			営 業 利 益		
	前第3 四半期連結 累計期間	当第3 四半期連結 累計期間	増 減	前第3 四半期連結 累計期間	当第3 四半期連結 累計期間	増 減	前第3 四半期連結 累計期間	当第3 四半期連結 累計期間	増 減
土 木 事 業	9,910	18,162	8,252	18,478	19,830	1,351	△137	△247	△110
地盤改良 事 業	16,086	17,082	996	13,385	17,408	4,023	△656	△59	598
ブロック 事 業	3,018	4,496	1,479	2,388	2,824	436	△367	57	424

### （土木事業）

土木事業は、受注高が震災復興工事の増により前年同四半期から大幅に増加したことで、売上高は増収となりましたが、工事採算性の悪化による売上総利益の減少もあり、営業損失は247百万円（前年同四半期137百万円の損失）となりました。

### （地盤改良事業）

地盤改良事業は、受注高は前年同四半期とほぼ同水準ながら、売上高は豊富な手持工事の進捗から前年同四半期比で増収となり、営業損失は59百万円（前年同四半期656百万円の損失）となりました。

### （ブロック事業）

ブロック事業は、受注高が震災復興工事の増により前年同四半期から大幅に増加し、売上高が増収となったことに加え、型枠の稼働状況が向上し採算性が改善したことで、営業利益は57百万円（前年同四半期367百万円の損失）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、主に未成工事支出金等が増加したことにより前連結会計年度末に比べて350百万円増加し、43,612百万円となりました。

負債は、主に支払手形・工事未払金等が増加したことにより前連結会計年度末に比べて769百万円増加し、31,148百万円となりました。

純資産は、当第3四半期連結累計期間での四半期純損失の計上もあり、前連結会計年度末に比べて418百万円減少し12,464百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績見通しについては、平成24年5月11日に公表しました、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,654	6,362
受取手形・完成工事未収入金等	18,356	17,492
未成工事支出金等	563	1,330
販売用不動産	659	651
材料貯蔵品	591	551
その他	2,701	1,989
貸倒引当金	△63	△61
流動資産合計	28,462	28,313
固定資産		
有形固定資産	6,646	7,190
無形固定資産	254	176
投資その他の資産		
投資有価証券	5,221	5,196
その他	4,925	4,827
貸倒引当金	△2,246	△2,090
投資その他の資産合計	7,900	7,933
固定資産合計	14,800	15,299
資産合計	43,262	43,612
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	15,697	16,820
短期借入金	4,715	3,815
未払法人税等	94	69
未成工事受入金等	3,222	3,207
引当金	315	226
その他	1,322	1,463
流動負債合計	25,366	25,601
固定負債		
長期借入金	1,600	1,400
退職給付引当金	1,688	2,111
その他の引当金	2	2
その他	1,724	2,034
固定負債合計	5,014	5,548
負債合計	30,379	31,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	14,756	14,756
利益剰余金	△6,754	△7,204
自己株式	△251	△251
株主資本合計	12,751	12,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28	△9
為替換算調整勘定	36	36
その他の包括利益累計額合計	8	27
少数株主持分	124	136
純資産合計	12,882	12,464
負債純資産合計	43,262	43,612

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高		
完成工事高	31,378	36,777
兼業事業売上高	2,903	3,287
売上高合計	34,281	40,064
売上原価		
完成工事原価	29,036	34,094
兼業事業売上原価	1,678	1,695
売上原価合計	30,714	35,788
売上総利益		
完成工事総利益	2,342	2,684
兼業事業総利益	1,225	1,592
売上総利益合計	3,567	4,275
販売費及び一般管理費	4,669	4,492
営業損失 (△)	△1,102	△217
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	10	10
特許実施収入	16	18
持分法による投資利益	—	56
その他	30	23
営業外収益合計	58	108
営業外費用		
支払利息	165	151
その他	222	94
営業外費用合計	388	245
経常損失 (△)	△1,431	△353
特別利益		
固定資産売却益	3	36
その他	7	5
特別利益合計	11	41
特別損失		
固定資産除却損	5	34
持分変動損失	43	34
その他	32	33
特別損失合計	80	102
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,500	△413
法人税、住民税及び事業税	63	66
法人税等調整額	44	△42
法人税等合計	107	25
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,608	△438
少数株主利益	9	12
四半期純損失 (△)	△1,617	△450

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,608	△438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	12
為替換算調整勘定	△6	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	7
その他の包括利益合計	△80	19
四半期包括利益	△1,687	△418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,696	△431
少数株主に係る四半期包括利益	8	12

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土木事業	地盤改良 事業	ブロック 事業	合計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	18,323	13,394	2,202	33,919	363	34,281	—	34,281
セグメント間の内部売上 高又は振替高	156	△9	186	333	217	550	△550	—
計	18,478	13,385	2,388	34,251	579	34,831	△550	34,281
セグメント損失(△)	△137	△656	△367	△1,161	△7	△1,168	66	△1,102

- （注） 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険等のサービス事業等からなります。
- 2 セグメント損失（△）の調整額66百万円には、セグメント間取引消去30百万円、その他の調整額36百万円が含まれています。
- 3 セグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土木事業	地盤改良 事業	ブロック 事業	合計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	19,837	17,215	2,748	39,800	264	40,064	—	40,064
セグメント間の内部売上 高又は振替高	△7	193	76	262	197	459	△459	—
計	19,830	17,408	2,824	40,062	461	40,523	△459	40,064
セグメント利益又は損失(△)	△247	△59	57	△249	△3	△252	36	△217

- （注） 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の保険等のサービス事業等からなります。
- 2 セグメント利益又は損失（△）の調整額36百万円には、セグメント間取引消去33百万円、その他の調整額3百万円が含まれています。
- 3 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

受注高・売上高・繰越高（連結ベース）

当社グループにおける事業の状況は、以下のとおりです。

(単位:百万円)

区分	期 別	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)		比 較	
	部 門	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
受注高	工 事	25,380	87.5	34,526	87.4	9,146	36.0
	型枠賃貸他	3,612	12.5	4,966	12.6	1,355	37.5
	計	28,992	100.0	39,492	100.0	10,501	36.2
売上高	工 事	31,378	91.5	36,777	91.8	5,400	17.2
	型枠賃貸他	2,903	8.5	3,287	8.2	383	13.2
	計	34,281	100.0	40,064	100.0	5,783	16.9
繰越高	工 事	33,422	96.7	38,593	94.8	5,171	15.5
	型枠賃貸他	1,153	3.3	2,111	5.2	958	83.1
	計	34,575	100.0	40,704	100.0	6,129	17.7